

PRESS RELEASE

## Gallery selection

Mark Manders

Thomas Ruff

Hiroshi Sugimoto

Ebosi Yuasa

2024年7月4日(木) – 8月21日(水)



Mark Manders, *Day Scene*, 2023, painted wood, painted epoxy  
Photo: Peter Cox

この度ギャラリー小柳では、2024年7月4日(木)から8月21日(水)の会期で「Gallery selection」を開催いたします。本展では、日本初公開となるマーク・マンダースの新着作品をはじめ、その他にNASAの探査船が撮影した火星の画像を素材とするトーマス・ルフの「ma.r.s」、杉本博司が映画1本分の時間を1枚の写真に収めた「劇場」、ユアサエボシが本年3月に国立西洋美術館で発表した抽象画を展覧いたします。

マーク・マンダースの新着の彫刻作品には、頭部の断面の背後に、緑に近い青色の塗料が使われています。マンダースは、それを言葉では定義できない色として、時に自作のFake Newspapers(架空の新聞)と組み合わせ、時に空や海などの風景として作品に登場させています。本作ではタイトル《Day Scene》にもあるように、日中の空の色を表しているのかもしれません。

また6月22日(土)から10月14日(月)の会期で、金沢21世紀美術館で開催される「Lines(ラインズ)―意識の流れに合わせる」にてマーク・マンダースの《4つの黄色い縦のコンポジション》(2017-19年)をはじめとする作品群が展示されます。この機会にぜひあわせてご覧くださいませ。

本年12月にはマーク・マンダースの個展をギャラリー小柳で開催いたしますので、ぜひ楽しみにお待ちください。

資料および図版のご依頼はギャラリーまでご連絡ください。ご掲載の際にはご一報いただけますようお願い申し上げます。

ギャラリー小柳

【展覧会概要】

展覧会名：Gallery selection | マーク・マンダース、トーマス・ルフ、杉本博司、ユアサエボシ

展覧会会期：2024年7月4日（木）－ 8月21日（水）

開廊時間：12:00 – 19:00

休廊日：日・月・祝祭日 \*夏季休廊：2024年8月13日（火）－ 17日（土）

会場：

ギャラリー小柳

東京都中央区銀座1-7-5 小柳ビル9F

TEL: 03-3561-1896 Fax: 03-3563-3236

アクセス：

東京メトロ有楽町線 銀座一丁目駅7番出口より徒歩1分

東京メトロ丸ノ内線・銀座線・日比谷線 銀座駅A9番出口より徒歩5分

お問い合わせ：

ギャラリー小柳

Tel: 03-3561-1896

Mail: [mail@gallerykoyanagi.com](mailto:mail@gallerykoyanagi.com)

URL: <http://www.gallerykoyanagi.com>

【広報用図版】



[キャプション・日]

マーク・マンダース

Day Scene

2023年

彩色された木、彩色されたエポキシ樹脂

24 x 25.3 x 7.2 cm

[キャプション・英]

Mark Manders

*Day Scene*

2023

Painted wood, painted epoxy

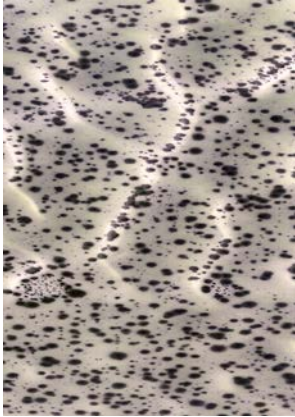
24 x 25.3 x 7.2 cm

[クレジットライン]

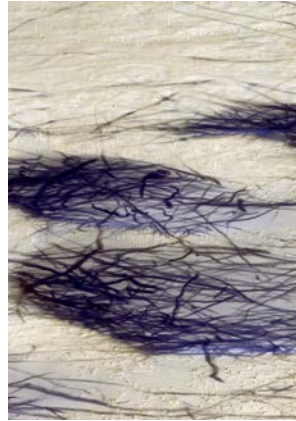
Photo: Peter Cox

©Mark Manders / Courtesy of Gallery Koyanagi

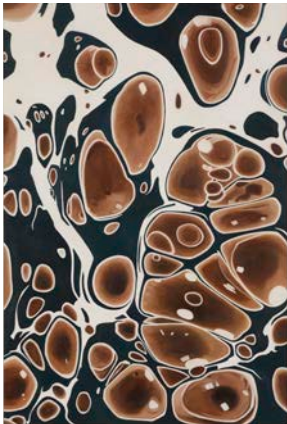
## 【出品作品】



Thomas Ruff, *IRB\_ma.r.s. 03*, 2014  
chromogenic print, 165 x 123 x 5 cm (frame)



Thomas Ruff, *IRB\_ma.r.s. 05*, 2014  
chromogenic print, 165 x 123 x 5 cm (frame)



ユアサエボシ 《抽象画 A》 2023 年  
Ebosi Yuasa, *Abstract painting A*, 2023  
acrylic on canvas, 194 x 130.3 cm



ユアサエボシ 《抽象画 B》 2023 年  
Ebosi Yuasa, *Abstract painting B*, 2023  
acrylic on canvas, 194 x 130.3 cm



ユアサエボシ 《抽象画 C》 2023 年  
Ebosi Yuasa, *Abstract painting C*, 2023  
acrylic on canvas, 194 x 130.3 cm



Hiroshi Sugimoto, *Goshen, Indiana*, 1980  
gelatin silver print, 119.4 x 149.2 cm (image)  
152.4 x 182.2 x 7.6 (frame)

## マーク・マンダース

1968 オランダ フォルケル生まれ  
ロンネ ベルギー在住

## 主な個展

- 2025 「Mark Manders」 Museum Voorlinden (ワッセナー、オランダ)
- 2021 「マーク・マンダース：保管と展示」 東京都現代美術館 (東京)  
「マーク・マンダースーマーク・マンダースの不在」 東京都現代美術館 (東京)
- 2020 「ミヒャエル・ボレマンズ マーク・マンダース | ダブル・サイレンス」 金沢 21 世紀美術館 (金沢)
- 2018 「ミヒャエル・ボレマンズ / マーク・マンダース」 ギャラリー小柳 (東京)
- 2017 「Rokin fountain sculpture (permanent installation)」 Rokin Square (アムステルダム)  
「Minneapolis Sculpture Garden (permanent installation)」 Walker Art Centner (ミネアポリス、アメリカ)
- 2016 「Mark Manders」 Zeno X Gallery (アントワープ、ベルギー)
- 2015 「Mark Manders」 Tanya Bonakdar Gallery (ニューヨーク)  
「マーク・マンダース」 ギャラリー小柳 (東京)
- 2014 「Mark Manders」 Centro Galego de Arte Contemporanea (サンティアゴ・デ・コンポステーラ、スペイン)
- 2013 「Room with broken Sentence」 Dutch Pavillion, 55th Venice Biennial (ヴェニス)
- 2012 「Parallel Occurences / Documented Assignments」 Dallas Museum of Art (ダラス、アメリカ)
- 2011 「Two Interconnected Houses」 Douglas Hyde Gallery (ダブリン、アイルランド)  
「Parallel Occurences / Documented Assignments」 Walker Art Center (ミネアポリス、アメリカ)  
「Parallel Occurences / Documented Assignments」 Aspen Art Museum (アスペン、アメリカ)  
「Two Interconnected Houses」 La Casa Luis Barragán (メキシコシティ)
- 2010 「Parallel Occurences / Documented Assignments」 Hammer Museum (ロサンゼルス)
- 2009 「The Absence of Mark Manders」 Kunsthaus Zürich (チューリヒ、スイス)
- 2008 「The Absence of Mark Manders」 S.M.A.K. (アントワープ、ベルギー)  
「The Absence of Mark Manders」 Kunsthall Bergen (ベルゲン、ノルウェー)
- 2007 「The Absence of Mark Manders」 Kunstverein Hannover (ハノーバー、ドイツ)
- 2006 「Mark Manders: Short Sad Thoughts」 BAL TIC Centre for Contemporary Art (ゲーツヘッド、イギリス)
- 2005 「Parallel Occurance」 IMMA - Irish Museum of Modern Art (ダブリン、アイルランド)  
「MATRIX 214: The Absence of Mark Manders」 Berkeley Art Museum (バークレー、アメリカ)
- 2003 「Mark Manders」 The Art Institute Chicago (シカゴ)  
「Mark Manders」 Pinakothek der Moderne (ミュンヘン)
- 2002 「Kaleidoscope Night」 Kröller-Müller Museum (オッテルロー、オランダ)
- 1998 「XXIV Biennale Sao Paolo. Self Portrait in a surrounding area」 (サンパウロ、ブラジル)  
「14 Fragments from Self-Portrait as a Building」 Staatliche Kunsthalle (バーデン・バーデン、ドイツ)
- 1997 「Mark Manders」 The Douglas Hyde Gallery (ダブリン、アイルランド)  
「Mark Manders」 De Appel (アムステルダム)
- 1994 「Mark Manders shows some fragments of his Self-Portrait」 MUHKA (アントワープ、ベルギー)  
「Mark Manders」 Van Abbemuseum (アイントホーフェン、オランダ)

主なパブリックコレクション

愛知県美術館／金沢 21 世紀美術館／国立国際美術館／東京都現代美術館／Art Gallery of Ontario  
／Art Institute of Chicago／Carnegie Museum of Art／Fondation Louis Vuitton／Irish Museum of  
Modern Art／Kunsthaus Zurich／MOCA Museum of Contemporary Art, Los Angeles／MuHKA,  
Antwerpen／Museum of Contemporary Art, Chicago／The Museum of Modern Art, New York／  
Museum voor Moderne Kunst／Philadelphia Museum of Art／Pinakothek der Moderne／  
Sammlung Goetz／San Francisco Museum of Modern Art／S.M.A.K., Ghent／Stedelijk Museum,  
Amsterdam／Van Abbemuseum／Wadsworth Atheneum Museum of Art／Walker Art Center

## トーマス・ルフ

- 1958 ドイツ、ツェル・アム・ハルマースバッハ生まれ。  
 1977-1985 デュッセルドルフ美術アカデミー卒業  
 デュッセルドルフ在住

## 主な個展

- 2022 「Thomas Ruff: Méta-Photographie」 Musée d'art moderne et contemporain de Saint-Étienne Métropole (MAMC) (サンテティエンヌ、フランス)
- 2021 「Thomas Ruff: after.images – Works 1989-2020」 National Taiwan Museum of Fine Arts (台中、台湾)
- 2020 「Thomas Ruff」 K20 - Kunstsammlung Nordrhein-Westfalen (デュッセルドルフ、ドイツ)
- 2017 「Thomas Ruff」 Whitechapel Gallery (ロンドン)
- 2016 「トーマス・ルフ」東京国立近代美術館 (東京) / 金沢 21 世紀美術館 (金沢)  
 「Thomas Ruff: Object Relations」 Art Gallery of Ontario (トロント、カナダ)
- 2014 「Inbox: Thomas Ruff」 The Museum of Modern Art (ニューヨーク)  
 「Thomas Ruff: Lichten」 Stedelijk Museum voor Actuele Kunst (S.M.A.K.) (ヘント、ベルギー)  
 / Kunsthalle Düsseldorf  
 「トーマス・ルフ : ma.r.s. and negatives」ギャラリー小柳 (東京)  
 「トーマス・ルフ : photograms」 TOLOT/heuristic SHINONOME (東京)
- 2012 「Thomas Ruff」 Haus der Kunst (ミュンヘン、ドイツ)
- 2011 「Thomas Ruff: ma.r.s.」 Centro de Arte Contemporáneo de Málaga (マラガ、スペイン)  
 「Thomas Ruff: Stellar Landscapes」 LWL-Landesmuseum für Kunst und Kulturgeschichte (ミュンスター、ドイツ)
- 2009 「トーマス・ルフ : cassini + zycles」ギャラリー小柳 (東京)  
 「Thomas Ruff: Schwarzwald.Landschaft」 Museum für Neue Kunst (フライブルグ、ドイツ)  
 「Thomas Ruff: Surfaces, Depths」 Kunsthalle Wien (ウィーン、オーストリア)  
 「Thomas Ruff」 Castello di Rivoli - Museo d'Arte Contemporanea (トリノ、イタリア)
- 2008 「Thomas Ruff: A Retrospective」 Múcsarnok Kunsthalle (ブダペスト、ハンガリー)
- 2007 「Thomas Ruff: Jpegs」 Moderna Museet (ストックホルム、スウェーデン)  
 「Thomas Ruff: The Sprengel Project」 Sprengel Museum (ハノーファー、ドイツ)
- 2004 「Thomas Ruff: Les Oeuvres de la Collection Pierre Huber」 Musée d'Art Moderne et Contemporain (ジュネーヴ、スイス)
- 2002 「Thomas Ruff: Identificaciones」 Museo Tamayo Arte Contemporáneo (メキシコシティ)  
 「トーマス・ルフ : Substrate」ギャラリー小柳 (東京)
- 2001-2004 「Thomas Ruff: Photographs 1979 to Present」 Staatliche Kunsthalle Baden-Baden (バーデン・バーデン、ドイツ) / Museet for Samtidskunst (オスロ、ノルウェー) / Museum Folkwang (エッセン、ドイツ) / Städtische Galerie im Lenbachhaus (ミュンヘン、ドイツ) / Irish Museum of Modern Art (ダブリン、アイルランド) / Artium Centro-Museo Vasco de Arte Contemporáneo, Vitoria Gasteiz (ビトリア=ガステイス、スペイン) / Museu Serralves (ポルト、ポルトガル) / Tate Liverpool (イギリス) / Centre for Contemporary Art Ujazdowski Castle (ワルシャワ、ポーランド)
- 1998 「トーマス・ルフ」ギャラリー小柳 (東京)

## 杉本博司

- 1948 東京生まれ  
 1970 立教大学経済学部卒業  
 1974 アートセンター・カレッジ・オブ・デザイン卒業  
 1974- ニューヨーク在住

## 主な個展

- 2023-2024 「Hiroshi Sugimoto: Time Machine」ヘイワード・ギャラリー（ロンドン、イギリス）／ユーレンス現代芸術センター（北京、中国）／シドニー現代美術館（オーストラリア）  
 「杉本博司 本歌取り 東下り」渋谷区立松濤美術館（東京）  
 「杉本博司 火遊び Playing with Fire」ギャラリー小柳（東京）
- 2022 特別展 春日若宮式年造替奉祝「杉本博司ー 春日神霊の御生 御蓋山そして江之浦」春日大社国宝殿（奈良）  
 「杉本博司 本歌取りー日本文化の伝承と飛翔」姫路市立美術館（兵庫）  
 「OPERA HOUSE」ギャラリー小柳（東京）  
 「春日神霊の旅ー杉本博司 常陸から大和へ」神奈川県立金沢文庫（神奈川）
- 2021 「OPTICKS」ギャラリー小柳（東京）
- 2020 「飄々表具ー杉本博司の表具表現世界ー」細見美術館（京都）  
 「杉本博司 瑠璃の浄土」東山キューブ、京都市京セラ美術館（京都）  
 「Past Presence」ギャラリー小柳（東京）
- 2018 「クアトロ・ラガッツィ 桃山の夢とまぼろしー杉本博司と天正少年使節が見たヨーロッパ」長崎県美術館（長崎）  
 「SUGIMOTO VERSAILLES Surface of Revolution」トリアノン、ヴェルサイユ宮殿（フランス）  
 「信長とクアトロ・ラガッツィ 桃山の夢と幻 + 杉本博司と天正少年使節が見たヨーロッパ」MOA 美術館（静岡）  
 「杉本博司：Still Life」ベルギー王立美術館（ブリュッセル、ベルギー）
- 2017 「杉本博司：天国の扉」ジャパン・ソサエティ（ニューヨーク）  
 「LE NOTTI BIANCHE」サンドレット・レ・レバウデンゴ財団現代美術館（トリノ、イタリア）
- 2016 「杉本博司 ロスト・ヒューマン」東京都写真美術館（東京）
- 2015 「趣味と芸術ー味占郷」千葉市美術館（千葉）／細見美術館（京都/\*2016）  
 「今昔三部作」千葉市美術館（千葉）／モスクワ・マルチメディア美術館（ロシア/\*2016）  
 ／Musée des Beaux-Arts, Le Locle（ヌーシャテル、スイス/\*2016）
- 2014 「ON THE BEACH」ギャラリー小柳（東京）  
 「ロスト・ヒューマン・ジェネティック・アーカイブ」パレ・ド・トーキョー（パリ、フランス）  
 「杉本博司：Past Tense」The J. Paul Getty Museum（ロサンゼルス、アメリカ）
- 2013 「杉本博司」サムスン美術館リウム（ソウル、韓国）
- 2012 「Five Elements」ギャラリー小柳（東京）  
 「杉本博司 ハダカから被服へ」原美術館（東京）
- 2011 「杉本博司 アートの起源 | 建築」丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川）
- 2009 「杉本博司ー光の自然」IZU PHOTO MUSEUM（静岡）  
 「放電場」ギャラリー小柳（東京）
- 2008 「歴史の歴史」金沢 21 世紀美術館（石川）／国立国際美術館（大阪/\*2009）
- 2007 「漏光」ギャラリー小柳（東京）



- 「杉本博司」K20 ノルトライン＝ヴェストファーレン州立美術館（デュッセルドルフ、ドイツ）／ノイエ・ナショナルギャラリー（ベルリン、ドイツ/\*2008）
- 2006 「本歌取り」ギャラリー小柳（東京）  
「観念の形 数理模型」アトリエ・ブランクーシ、ポンピドゥー・センター（パリ、フランス）
- 2005 「歴史の歴史」ジャパン・ソサエティー・ギャラリー（ニューヨーク、アメリカ）  
「杉本博司：時間の終わり」森美術館（東京）／ハーシュホーン博物館と彫刻の庭（ワシントンD.C、アメリカ/\*2006）
- 2004 「大ガラスが与えられたとせよ」カルティエ現代美術財団（パリ、フランス）
- 2003 「杉本博司」サーペンタイン・ギャラリーズ（ロンドン、イギリス）  
「杉本博司：歴史の歴史」メゾンエルメス フォーラム（東京）  
「ARCHITECTURE」ギャラリー小柳（東京）  
「杉本博司：建築」シカゴ現代美術館（イリノイ州、アメリカ）
- 2001 「杉本博司：時の建築」ブレゲンツ美術館（オーストリア）  
「Portraits」ギャラリー小柳（東京）
- 2000 「杉本博司」ルフィーノ・タマヨ美術館（メキシコシティ、メキシコ）  
「杉本博司：建築シリーズ」サンフランシスコ近代美術館（カリフォルニア州、アメリカ）  
「杉本博司：ポートレート」ドイツ・グッゲンハイム美術館（ベルリン、ドイツ）／ビルバオ・グッゲンハイム美術館（ビルバオ、スペイン）
- 1999 「陰翳礼讃」ギャラリー小柳（東京）
- 1998 「モダニズム」ギャラリー小柳（東京）
- 1997 「Twice as Infinity」ギャラリー小柳（東京）
- 1996 「杉本博司：写真」ストックホルム近代美術館（スウェーデン）  
「Motion Picture」ギャラリー小柳（東京）
- 1995 「Still Life」ギャラリー小柳（東京）  
「杉本博司」メトロポリタン美術館（ニューヨーク、アメリカ）／ヒューストン・コンテンポラリー・アート・美術館（ヒューストン、アメリカ/\*1996）／ハラ ミュージアム アーク（群馬/\*1996）／アクロン美術館（オハイオ州、アメリカ/\*1997）  
「杉本博司：Time Exposed」クンストハレ・バーゼル（スイス）
- 1994 「杉本博司」ロサンゼルス現代美術館（カリフォルニア州、アメリカ）
- 1992 「杉本博司：Time Exposed」CAPC ボルドー現代美術館（フランス）
- 1991 「杉本博司：Time Exposed」佐賀町エキジビット・スペース／佐賀町 BIS、IBM 箱崎ビル前庭（東京）
- 1989 「近作展 6—杉本博司」国立国際美術館（大阪）
- 1988 「杉本博司」佐賀町エキジビット・スペース／ツァイト・フォト・サロン（東京）  
「杉本博司：ジオラマ、劇場、海景」ソナバンド・ギャラリー（ニューヨーク、アメリカ）
- 1977 「杉本博司」南画廊（東京）

受賞歴

- 2023 日本芸術院会員 任命
- 2018 ナショナル・アーツ・クラブ 名誉勲章[写真]部門、ニューヨーク
- 2017 文化功労者 選出、東京  
王立写真協会賞、ロンドン
- 2014 第1回イサム・ノグチ賞、ニューヨーク
- 2013 フランス芸術文化勲章オフィシエ章、パリ
- 2010 秋の紫綬褒章、東京

GALLERY KOYANAGI

- 2009 高松宮殿下記念世界文化賞〔絵画〕部門、東京
- 2006 フォトエスパーニャ賞、マドリッド、スペイン
- 2001 国際写真賞、ハッセルブラッド基金、ヨーテボリ、スウェーデン
- 2000 名誉博士号、パーソンズ・スクール・オブ・デザイン、ニュースクール大学、ニューヨーク
- 1999 グレン・ディンプレックス賞、アイルランド近代美術館、ダブリン  
第15回アニュアル・インフィニティ賞、国際写真センター、ニューヨーク
- 1988 毎日芸術賞、東京
- 1982 国立芸術基金 (NEF) 助成金、ワシントン D.C.
- 1980 ジョン・サイモン・グッゲンハイム記念財団奨学金、ニューヨーク
- 1977 C.A.P.S. 奨学金、ニューヨーク

## ユアサエボシ

- 1983 千葉県生まれ 千葉県在住  
 2005 東洋大学経済学部卒業後、商品先物取引会社に就職するも半年で倒産  
 一転して画家になる決心をする  
 2008 東洋美術学校 絵画科 卒業

## 個展

- 2023 「漕にて at the end」 Yoshiaki Inoue Gallery (大阪)  
 2019 「侵入するスペクトル」 AKIO NAGASAWA GALLERY AOYAMA (東京)  
 「曲馬考」 銀座 蔦屋書店 アートウォールギャラリー (東京)  
 「プラパゴンの馬」 EUKARYOTE (東京)  
 2014 「TWS-Emerging 2014/News paper collage project」 トーキョーワンダーサイト渋谷 (東京)  
 2013 GEISAI#19 ガブリエル・リッター賞「ユアサエボシ個展」 Hidari Zingaro (東京)

## グループ展

- 2024 「Fukuzawa Re:birth 福沢一郎×平川恒太・ユアサエボシ・江上越」 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館 (群馬)  
 「Revealed - 3つの個人コレクション - Joytech Collection、照井コレクション、G foundation Collection」 横浜市民ギャラリー あざみ野 (神奈川)  
 「ここは未来のアーティストたちが眠る部屋となりえてきたか? ——国立西洋美 65年目の自問 | 現代美術家たちへの問いかけ」 国立西洋美術館 (東京)  
 2023 「はならあと 2023」 宇田松山エリア (奈良)  
 「中村裕太 | ユアサエボシ 耽奇展覧」 ギャラリー小柳 (東京)  
 「やんばるアートフェスティバル 2022-2023」 大宜味村立旧塩屋小学校 (沖縄)  
 「2022年度 コレクション展 4: 素材とあそぶ」 高松市美術館 (香川)  
 2022 「Alter Ego」 Noblesse Collection (ソウル、韓国)  
 「Paprika」 EACH MODERN (台北、台湾)  
 「VOCA 展 2022: 現代美術展望—新しい平面の作家たち—」 上野の森美術館 (東京)  
 「高松コンテンポラリーアート・アニュアル vol. 10: ここに境界線はない。/?」 高松市美術館 (香川)  
 「ACT Vol. 4 接近、動き出すイメージ」 トーキョーアーツアンドスペース本郷 (東京)  
 「奇想のモード: 装うことへの狂気、またはシュルレアリスム」 東京都庭園美術館 (東京)  
 2021 「still life 静物」 ギャラリー小柳 (東京)  
 2020 「森-Deep Forest-」 YOSHIAKI INOUE GALLERY (大阪)  
 「3331 ART FAIR 2020」 3331 Arts Chiyoda (東京)  
 2019 「買える! アートコレクター展」 MEDEL GALLERY SHU (東京)  
 「I 氏コレクション展 今どきアート 2020 全て初めて」 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館 (群馬)  
 「東京インディペンデント 2019」 東京藝術大学大学美術館 陳列館 (東京)  
 「ザ・プレミアム平成ショー」 THE blank GALLERY (東京)  
 2018 「シェル美術賞アーティストセレクション 2018」 国立新美術館 (東京)  
 「パーブルーム大学附属ミュージアムのヘルスケア」 常陸太田市郷土資料館 梅津会館 (茨城)  
 「Multi shutter」 EUKARYOTE (東京)  
 「六甲ミーツ・アート 芸術散歩 2018」 六甲山 (兵庫)

- 「バラックアンデパンダン」 BARRAKI (沖縄)
- 2017 「ゲンビどこでも企画公募 2017」 広島市現代美術館 (広島)  
 「ground under」 セゾンアートギャラリー (東京)  
 「中之条ビエンナーレ 2017」 群馬県中之条町 (群馬)  
 「第 7 回 新鋭作家展」 二次審査プレゼンテーション展示公開  
 川口市立アートギャラリー・アトリア (埼玉)
- 「第 20 回 岡本太郎現代芸術賞展」 川崎市岡本太郎美術館 (神奈川)
- 2016 「Independent TAGBAOT ART FES」 ヒューリックホール (東京)
- 2015 「シブヤのタマゴ さよなら区庁舎」 渋谷区総合庁舎 (東京)  
 「合同展」 千葉市文化センター (千葉)  
 「第 11 回 世界絵画大賞展」 東京都美術館 (東京)
- 2014 「3331 千代田芸術祭 2014 アンデパンダン展」 3331 アーツ千代田 (東京)
- 2013 「シェル美術賞 2013」 国立新美術館 (東京)  
 「GEISAI#19」 都立商業貿易センター 台東館 (東京)  
 「ASIAN AGE III展」 アートコンプレックスセンター (東京)
- 2013 「第 9 回 世界絵画大賞展」 東京都美術館 (東京)  
 「TAGBOAT@Bunkamura」 Bunkamura Gallery (東京)  
 「タグボートアワード in 台北」 ArtSpace 金魚空間 (台北)  
 「トーキョーワンダーウォール公募 2013 入選作品展」 東京都現代美術館 (東京)  
 「第 8 回 タグボートアワード」 世田谷ものづくり学校 (東京)

パブリックコレクション

高松市美術館 (香川)

受賞歴

- 2018 第 10 回 絹谷幸二賞
- 2017 アクリルガッシュビエンナーレ 2016 佳作
- 2015 第 13 回 千葉市芸術文化新人賞
- 2013 第 28 回 ホルペイン・スカラシップ奨学生  
 GEISAI#19 ガブリエル・リッター賞  
 第 9 回 世界絵画大賞展 協賛社賞  
 第 8 回 タグボートアワード 青山悟賞

イベント、その他

- 2024 「『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本」 板橋区立美術館 (東京)  
 関連ワークショップ「制作のお話とカラーージュのワークショップ」
- 2019 ARTISTS meet GAP 50th ANNIVERSARY 限定コラボレーション T シャツデザイン
- 2018 「時代に生き、時代を超える 板橋区立美術館コレクションの日本近代洋画 1920-1950s」  
 館林美術館 (群馬) 関連ワークショップ「戦時下における作品制作術」